

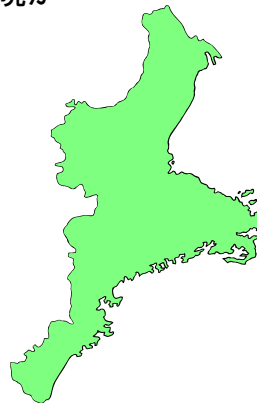
## 地方独立行政法人化と 民間病院との再編統合の取組み

民間病院と同じ土俵で病院運営を！

地方独立行政法人桑名市民病院

### ①三重県の特徴

1. 紀伊半島の東側、南北に細長く、人口は約180万人
2. 大都市はなく、南北に中小都市が並んでいる。
3. いわゆるメガホスピタルは少なく、300～400床規模の病院が中核
4. 三重大学医学部と県内のほぼ全ての病院が協力関係をもって、臨床研修生涯教育、地域医療を担ってきた。
5. 近年、大学病院での研修医が激減し、地域の医師不足が顕在化



## ②北勢保健医療圏の特徴



## ③桑名地区の特徴



## ④桑名地区の現状(1)

### ○医師不足

#### ・人口10万人当たりの医師数

全国	206.3人
三重県	186.7人
医療圏	163.2人
桑名地区	158.2人

## ④桑名地区の現状(2)

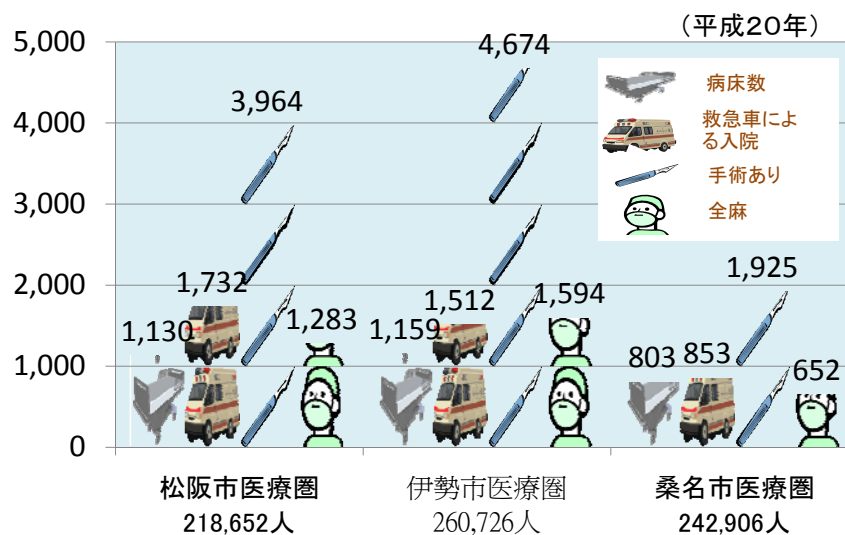
### ○看護師不足

#### ・人口10万人当たりの看護師数

(単位:人)

	看護師	准看護師	合計
全国	635.5	299.1	934.6
三重県	581.5	313.1	894.6
医療圏	522.9	292.2	815.1
桑名地区	514.8	349.5	864.3

## 《参考》 医療圏の比較(DPC病院)



## ⑤桑名市民病院の現状(1)

### 1. 医師不足

#### ・常勤医師数の推移

(単位:人)

年度	H16	H17	H18	H19
医師数	25	23	26	26

## ⑤桑名市民病院の現状(2)

### 1.看護師不足

#### ・常勤看護師数の推移

(単位:人)

年度	H16	H17	H18	H19
看護師数	114	118	114	117

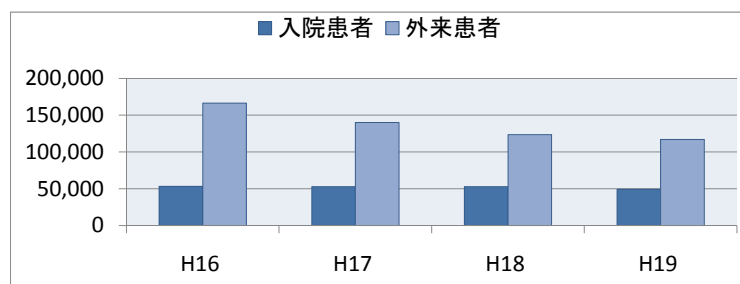
## ⑤桑名市民病院の現状(3)

### 3.患者数の減少

#### ・患者数の推移

(単位:人)

年度	H16	H17	H18	H19
入院患者	53,368	52,790	52,960	49,393
外来患者	166,369	140,056	123,462	117,012



## ⑤桑名市民病院の現状(4)

### 4.経営状況の悪化

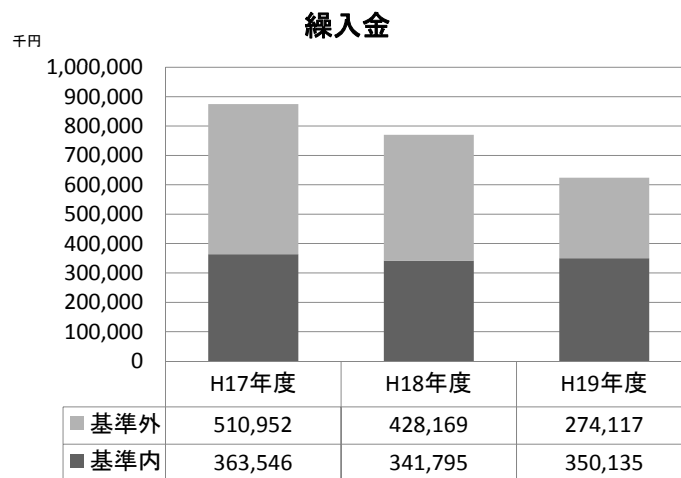
#### ・病院事業収支の推移

(単位:千円)

年 度	H17年度	H18年度	H19年度
病院事業収益	3,454,413	3,362,443	3,361,175
医業収益	2,631,734	2,645,543	2,818,657
医業外収益	822,679	716,900	542,518
特別利益	0	0	0
病院事業費用	3,634,062	3,510,789	3,473,634
医業費用	3,549,174	3,424,066	3,390,477
医業外費用	79,969	84,344	80,474
特別損失	4,919	2,379	2,683
収支差引額	▲179,649	▲148,346	▲112,459
医業収支比率	74.2%	77.3%	83.1%
経常収支比率	95.2%	95.8%	96.8%
給与比率	80.1%	74.6%	70.4%
病床利用率	61.8%	62.0%	56.7%

## ⑤桑名市民病院の現状(5)

### 5.一般会計からの繰入金の状況



## ⑥ 経営改善の取り組み

○総務省地方公営企業経営アドバイザー招致

⇒34項目の指摘事項

主な指摘事項として

- ・経営形態の見直し
- ・人件費の見直し
- ・委託費の見直し

## ⑦ 桑名市民病院あり方検討員会

1.設置年月 平成18年1月

2.メンバー

氏名	所属・役職名	摘要
余語 弘	小牧市民病院名誉院長	会長
坂井 温子	三重県桑名保健所長	副会長
新保 秀人	三重大学胸部心臓血管外科学教授	
新山 宏二	社団法人桑名医師会長	
樋口 幸一	公認会計士・税理士 (総務省地方公営企業経営アドバイザー)	

3.答申内容

- 基本機能 ⇒ 400床前後で二次医療が可能な自己完結型の急性期病院
- 経営改善 ⇒ 収支構造の改善と職員の意識改革
- 経営形態 ⇒ 非公務員型の地方独立行政法人が最も望ましい

## ⑧ 答申実現の方策

○400床規模の病床数の確保



⇒民間病院との再編統合の協議

○地方独立行政法人への移行

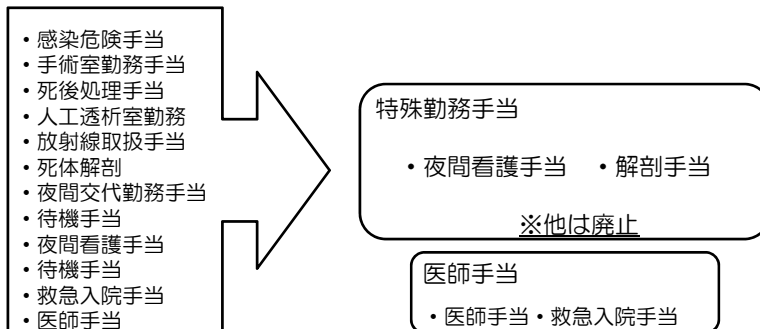
⇒職員、労働組合への協議

⇒市議会等への説明

## ⑨ 地方独立行政法人移行に伴う 諸制度の策定(1)

### 1. 職員給与規程

- ・ 社会保険病院、国立病院機構の給与規程を参考に策定
- ・ 級別標準職務による昇格運用
- ・ 特殊勤務手当の見直し

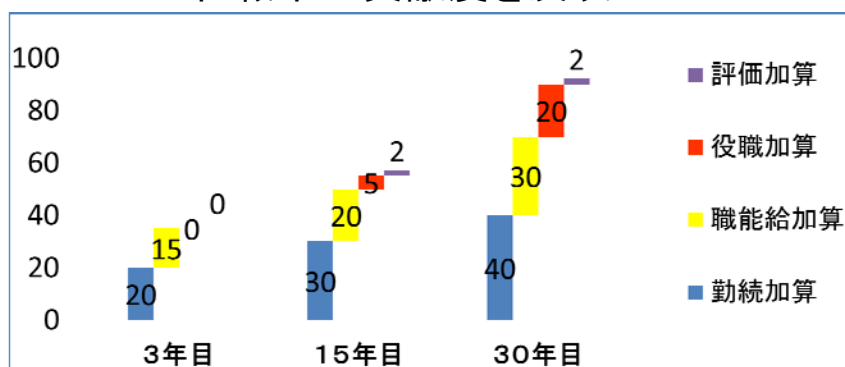




## ⑨地方独立行政法人移行に伴う 諸制度の策定(2)

### 2.職員退職手当規程(ポイント制度導入)

⇒在職中の貢献度を反映



⇒市退職手当条例の概ね70%を想定

## ⑨地方独立行政法人移行に伴う 諸制度の策定(3)

### 3.職員就業規程

- ・勤務時間は週38時間45分から週40時間に
- ・夏期休暇は7日から3日に

## ⑩地方独立行政法人移行後の取組み(1)

- ・医師確保

- ⇒医学生及び後期研修医に対する  
奨学金制度の新設

## ⑩地方独立行政法人移行後の取組み(2)

- ・患者サービス

- ⇒病院機能評価認定の取得

- ⇒医療費のクレジットカード等による支払

- ⇒シャトルバス運行開始

### ⑩地方独立行政法人移行後の取組み(3)

・市民対象の公開講座の開催

⇒法人化記念市民公開講座

⇒第1回病院祭(市民公開講座同時開催)

### ⑩地方独立行政法人移行後の取組み(4)

・プロパー職員の採用と研修による医療事務の  
専門性の向上

⇒平成22年4月医事業務管理指導職員の  
公募採用

⇒医事事務職員を常勤化しスキルアップ  
研修に派遣

## ⑩地方独立行政法人移行後の取組み(5)

### ・新しい人事評価制度の構築

⇒努力した職員が評価、処遇される制度

⇒評価結果に基づいた、賞与、昇給、昇任

⇒人材育成に繋がる評価制度

## ⑩地方独立行政法人移行後の取組み(6)

### ・効率的かつ効果的な業務運営

⇒担任業務の見直しによる適切な人員配置

⇒就労形態の多様化による人材確保

⇒事務部門の職務能力向上

## ⑩地方独立行政法人移行後の取組み(7)

### ・収入の確保

⇒医師及び看護師の確保

⇒7対1入院基本料の維持

⇒DPC制度の活用

## ⑩地方独立行政法人移行後の取組み(8)

### ・支出の節減

⇒後発医薬品の採用促進

⇒薬品、診療材料等のより安価なものへの統一

⇒契約方法の見直し

## ⑩地方独立行政法人移行後の取組み(9)

・平成21事業年度の業務実績に関する評価結果

「全体としては中期目標及び中期計画の達成に向け、概ね計画どおりに進んでいると評価する。」

⇒救急車搬送患者受入数、手術件数実績に一定の成果

⇒臨床研修医定数(3人)確保 ほか

## ⑪民間病院と同じ土俵で 病院運営をするため

○民間病院と同じ給与・退職金制度を

○民間病院と同じ経営のスピード感覚を

○民間病院と同じ人材確保を